

第 174 回 理事会議事次第(メール会議)議事概要

- 1 日 時 令和2年 8 月 15 日(土)
2 会 場 メール会議
3 出席者 (理事)阿部、小川(伊)、小山、飯田、上田、生沼、小川(英)、梶川、菅野、小島、島村、
新寄、高瀬、高橋、田中(正)、田中(憲)、鳥海、野木、野島、渡部
(監事)小森、鈴木

4 報告事項

- ① 会員数の状況(新規入会、退会等)
団体会員 49、個人会員 現在整理中、賛助会員 7
新規入会 団体 なし
退会 なし

5 議事

- ① 一般社団法人全麵協のNPOそばネットジャパンに対する不当な対応に対する見解
一般社団法人全麵協令和 2 年度第 2 回議事録(7 月 16 日開催)に、「NPOそばネット
ジャパンの役員で全麵協個人会員については退会勧告をする」ことが議決されており、
その対応について協議した。
議題の性格上議事内容は非公開であるが、結論は「全麵協から各役員に退会勧告が
あった場合理事会として適切に対応する。」としました。

② 第 10 回会員対抗選手権大会の中止について

この大会は、本年 3 月 28、29 日に開催することで準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 4 日に延期したものの、全国的に緊急事態宣言中となってしまい、再延期を余儀なくされたものです。

会員の交流を兼ねて発展してきた大会でもあり、さらに、そばネット埼玉からそばネットジャパンへの節目として記念大会の位置づけもしていたことから、何とか開催にこぎつけたいとしていましたが、コロナ禍は治まるどころか第 2 波の様相で、感染が拡大している県は独自の「緊急事態宣言」を発令しており、首都圏も追隨する動きもあります。

さらに、会員対抗大会は、出場者を制限して開催することは、この大会の趣旨から無意味となることも考慮する必要があります。

来年 3 月に開催を予定している第 11 回大会は、コロナ禍の収束(?)により、多くの会員が集結し、ジャパンの船出を祝う記念大会となることを期待するものです。

したがって、第 10 回は中止として、全会員に周知し、受領済みの出場料は全額返金することとします。

なお、この大会の会場借用料は全額返金を受けており、大会で使用するそば粉等についてもキャンセルが可能であったことで、純損出は少額であります。

以上承認された。

③ 会員活動顕彰制度について

4月に配布したパンフにジャパンの事業として、一般社団法人全麺協が会員個人の活動歴を soba meister の称号を授与する「Zen 麺ライセンス」と同様の制度を導入し、全麺協の単位数を引き継ぐとしており、別添「NPO そばネットジャパン会員活動顕彰規程(案)」を制定することとしたい。

提案の主旨は次のとおり

ア 名称については、理事から数点提案されたが、小山副代表理事の「そばパートナーズ」(パートナーはパートナーシップ“協力・協働関係”に関わる人を意味し、交流、地域活力向上のためのそば文化普及活動に携わる人の意味)が役員全員の賛成で決定しました。

イ 対象者は、団体正会員に所属する構成員及び個人正会員とする。(団体が社会福祉施設の訪問、地域のそばイベント参加など大きな役割を果たすことから、団体も顕彰の対象にすべきとの意見もあったが、単位制度となじみにくく、3本柱としている「地域文化の継承、地域活力の向上」において、地域で活躍する団体、個人の顕彰を挙げていることから団体はこの分野で顕彰することとします。

ウ 単位を貯める「そば パートナーズノート」(B5版)を有料頒布します。

エ 称号の授与は「盾」としたい。

オ 全麺協の単位の引継ぎは、引継ぎ時点の単位数とし、1回限りとする。

また、全麺協で既に称号を授与された単位数に相当するジャパンの称号は授与しない。

以上承認され、次回に規程案及びノートデザインを提案することとした。

④ 第一次「師範、准師範、技能検定員特別研修会」の開催について

ア 研修会開催の目的は別添「令和2年度 師範、准師範、検定員候補者特別研修会の開催要項(案)」1の目的のとおりであり、五段の課題である「郷土そば打ち」の中で最も多くの方が打っている「丸延し1本棒」の代表格ともいえる「戸隠そば」の山口屋店主山口輝文氏が講師として協力いただけることになり、六段課題の「さらしなそば打ち」の講師として協力いただける根本忠明氏と併せて研修会開催が可能となりました。

イ 定員

コロナ禍でもあり、県活総は会場の定員の半分以下で使用することとされており、研修会会場のセミナーホール1は210人で、1/2は105人である。

さらに、1日で丸延しとさらしなの講演、実演、実技演習を実施することになり、可能な受講人数は20人程度となることから、各日募集定員は20人とし、スタッフを併せても40人程度となります。

ウ 受講対象者

◇ 全麺協五段位で全国審査員又は地方審査員に任用されている者(であったものを含む。)

◇ 全麺協地方審査員に任用されている者(であったものを含む。)

上記で、昨年度、新規任用講習会を受講して4月1日付けで任用になった会員を除いても63名になるので、新規は除いて次回理事会に提案することとしました。

以上承認された。

⑤ 第2回全日本そば打ちマスタース大会の運営について

出場希望者は32名 G 2、SS 7、S 11、SJ 12

別添(4 ページ)出場者への決定通知文にあるように、新型コロナウイルス感染が拡大している中でも、感染防止対策を取ったうえで開催をすることとしています。

今後も、基本的にはその方針でいきたいと思いますが、今後の政府、自治体の対策状況を踏まえて判断することとします。

以上承認された。

⑥ NPOそばネットジャパンオリジナル麺棒の販売について(7 ページ)

以前から試行的に購入、販売している樹脂製のガス抜き麺棒について、今後、そば打ち入門者やさらしなそば打ちなどに積極的に普及を図ることとしたい。

長さ 80cm はNPOそばネットジャパンのオリジナルそば打ち麺棒として売り出すことを販売元会社が許容したので、別添のパンフを作成して販売したい。

ただ、根本氏のエンボス麺棒販売の支障となることは避けるための内容となっている。

メーカーへの発注量は 1000 本単位(今回は 800 本)とのことであり、仕入れ値が 1600 円+税となると、先行投資額と保管に難があり、中村豊蔵商店と掛け合っ分担保することになり、小川道場も 200 本受けて 300+300+200 計 800 本が成立した。

販売価格は、中村豊蔵商店と相談して 3000 円+税とした。(豊蔵商店は、通常の商品と比べて利益率が低いとのことであったが)

については、麺棒の名称について事務局で相談して、下記の候補が上がったが添付のカタログにあるとおり事務局として「バンピー麺棒」としたいとのことになった。

これも商標登録を速やかにすることとします。

1 バンピー麺棒(事務局)

2 Pバン麺棒(阿部)

3 イージー麺棒(菅野)

4 マジック麺棒(照沼)

以上承認された。

⑦ その他

新型コロナウイルス感染拡大で、6 月の総会以降、ネット上の理事会になっているが、やはり、今後、with コロナの中でジャパンを動かしていくには、対面の会議の重要性を多くの理事が感じています。

したがって、大きめの会場で理事会を開催することとして、次期としては、23 日にさいたま蕎麦打ち倶楽部の臨時総会があり、分離独立が提案されるので、その結果報告を含めて 8 月下旬から 9 月上旬に開催することついたと思いますがいかがですか？

以上承認された。

議事録署名人の選定について

理事 飯田良男

理事 野島靖夫

次回理事会 必要に応じて開催する

令和2年8月13日

第2回全日本そば打ちマスターズ大会
出場申込者 様

NPO法人そばネット埼玉
代表理事 阿 部 成 男

「第2回全日本そば打ちマスターズ大会」出場決定について
この度は、標記大会への出場申し込みをいただきありがとうございます。
おかげさまで、多くの出場申込をいただき深く感謝申し上げます。
つきましては、あなたがお申込みいただいた出場クラスの出場者として決定しましたので、**別紙1**
「第2回全日本そば打ちマスターズ大会」出場者の方へ」を参照の上、手続き等に遺漏のないよう
お願いします。

ところで、新型コロナウイルス感染拡大は、全国に発令された緊急事態宣言が解除になった後、
徐々に再拡大し始め、その拡大は治まらず第2波の懸念が指摘されております。

そのような状況の中で、政府は感染拡大を防止しながら社会経済活動を継続する”with コロナ
“所謂新しい生活様式を取り入れて新型コロナウイルスと共存していくことを模索しております。

ワクチンと治療薬が完備する“アフターコロナ”が訪れるときまでは、”with コロナ“は避けて通れ
ないのかもしれませんが。

したがって、私たちは、“アフターコロナ”を迎えたときには大いなる躍進が待ち受けていることを
胸に抱き、今は感染防止対策を講じながら安全に配慮した活動を継続していくことが求められてい
るのではないのでしょうか。

第2回目となるこの大会は、会場となる施設側の「感染防止に配慮し、使用室定員の1/2以下」
という要請に対し、審査会場は定員の1/3を予定しております。

したがって、審査会場は応援・見学者の入場はお断りすることにしており、ご理解とご協力をお
願いします。(詳細は別紙1を参照ください。)

第2回全日本そば打ちマスターズ大会事務局
〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-261-5
NPO そばネットジャパン
大会事務局 理事 高瀬 賢 司
TEL 090-6159-4703
メールアドレス sobanjanpan@npjapan.com
ホームページ <http://www.sobanetjapan.com/>

「無駄しない ロス ZERO は けちじゃない」

(「そばロス ZERO」応募作品 標語部門第1位)

別紙1

「第2回全日本そば打ちマスタース大会」出場者の方へ

1 出場料の納入について

8,000 円を 8 月 25 日(火)までに下記口座にお振込みください。
振込み手数料は出場者負担となります。

① 埼玉りそな銀行 南浦和支店 普通 4325485
トクヒ)ソバネットジャパン

② ゆうちょ銀行 普通 記号 10350 番号 8945481

他の金融機関からの振込の場合

店名 ○三八(ゼロサンハチ)店番 038 普通 0894548

トクヒ)ソバネットジャパン

振込人は必ず出場者本人の氏名にしてください。

2 開催日時等について

令和 2 年 9 月 27 日(日)

受付開始 午前 8 時 30 分

開会式 9 時 15 分

競技開始 第 1 組 9 時 50 分から

第 2 組 11 時 00 分から

第 3 組 12 時 30 分から

第 4 組 13 時 40 分から

閉会・表彰式 15 時 10 分から

※ 上記スケジュールは大会の進捗状況等により変更になることがあります。

3 開催会場

埼玉県県民活動総合センター 2 階セミナーホール1

〒362-0812 埼玉県北足立郡伊奈町内宿台 6-26

(案内図は配布済みの開催要項に添付してあります。)

4 審査用材料について

そば粉、中力粉、打ち粉、水は主催者で用意します。

5 そば打ち道具について

麵打ち台(縦 105cm×横 115cm 高さ 75cm 程度)、生舟(透明ケース 2 箱、内寸法 概ね横 37cm 縦 27cm 高さ 4.8cm)、手洗い用具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。

その他の道具は出場者の持込を可とし、木鉢台、麵棒の種類・本数も制限はありませんので、使い慣れた道具で出場してください。

その他主催者も用意し貸し出せる道具は別紙 2 を参照してください。

なお、大会で打ったそばは各自持ち帰りとなりますので、容器を持参してください。

6 出場に当たっての留意事項等について

出場に当たっての留意事項については、別紙 3 を参照してください。

ただし、大会当日に変更になることもありますので、当日の説明を聞いて対応してください。

7 練習用そば粉の斡旋について

大会で使用するそば粉(国産石臼挽き)、中力粉、打ち粉と同等品(完全に同じではありません)

ん。)を斡旋しますのでご希望の方は別紙 4)によりお申し込みください。

価格は そば粉 1,200 円/k 中力粉 350 円/k、打ち粉 650 円/k

代金は、受験料納入と同じ口座に振り込んでください。(受験料と合算でも結構です。)そば粉等の送料は、宅配便の受取人負担となります。

申し込みいただいてから順次発送します。

8 昼食について

施設内にレストランがあります。(控室で持ち込みのお弁当が食べられます。)

9 駐車場について

施設には有料駐車場が完備しております。

1 日 400 円

10 宿泊について

別紙 5)により申し込みください。(8 月 25 日までに申し込みください。)

11 そば打ち道具の会場直送

遠方の方で、そば打ち道具を宅配で送付する場合は下記にご留意ください。

送付先

〒362-0812 埼玉県北足立郡伊奈町内宿台 6-26

048-728-7112

埼玉県県民活動総合センター 気付 NPO そばネットジャパン

※ 荷物の到着確認をしますので、発送する方は事前に大会事務局に連絡してください。

12 大会当日に出場者に配布するパンフレットの出場者を紹介するページに顔写真入りのコメントを掲載しますので別紙 4)により提出してください。

13 新型コロナウイルス感染防止対策等

- ① 1組当たりの人数を 8 人程度にして台の間隔を従来の倍程度にします。
- ② 応援・見学はご遠慮いただき、会場内は出場者とスタッフとします。(付き添いの方の入場は可とします。)
- ③ 会場は極力窓を開放するなど換気に留意します。(冷房の効果が弱まることもあります。)
- ④ 出場者、スタッフは必ずマスクを着用し、会場到着後、検温、手指の消毒を行います。(体温が37.5度以上の方は出場辞退していただきます。)
- ⑤ フェイスシールドの着用をお勧めします。(主催者でも当日、200 円でお分けできます。)
- ⑥ 共用の道具等は1組終了ごとにスタッフが消毒します。
- ⑦ 出場者が打ったそばは持ち帰りいただきますが、遠路等で持ち帰りが困難な方は事務局に申し出てください。
- ⑧ その他、主催者の感染防止対応に従ってください。

14 問合せ先・希望申込書提出先

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-261-5

NPO そばネットジャパン マスターズ大会事務局

理事 高瀬 賢 司 TEL 090-6159-4703

E-mail : [npjapan@sobajapan.com](mailto:npojapan@sobajapan.com)

<http://www.sobanetjapan.com/>